

ぜひ議会傍聴においでください！

日頃からのご支援に感謝いたします。9月3日(火)から26日(木)までの会期で、前橋市議会の第3回定例会が開かれます。

共産党市議は皆さんから寄せられた声を議会質問でも取り上げ、市民要求の実現をめざして全力で論戦します。お誘い合わせて、議会傍聴にぜひお出かけください。



■総括質問 10日(火)

午前11時10分・長谷川薫 議員

(公共交通施策の改善・充実について・3歳未満児の無償化について)

■総括質問 11日(水)

午前10時20分・吉田直弘 議員

(前橋テルサの存続について・市立図書館新本館機能の充実について)

午後1時30分・小林久子 議員

(学校給食費の完全無償化の早期実施・コメ不足への緊急対策について)

■付託外討論 11日(水)午後4時30分・近藤好枝 議員

■意見書起草委員会 12日(木)小林久子 議員

■決算審査

17日(火) 建設水道常任委員会・長谷川薫 議員

(上下水道行政・市営住宅について・道路行政について)

18日(水) 総務常任委員会・吉田直弘 議員

(会計年度任用職員・ホームページの改善・包括外部監査・公共交通)

19日(木) 教育福祉常任委員会・小林久子 議員

(老人福祉センター・福祉施策の拡充・国保介護施策について)

20日(金) 市民経済常任委員会・近藤好枝 議員

(有害鳥獣対策・前橋テルサ・農業施策・市営温水プール・ごみ収集)

26日(木) 最終日・決算反対討論・長谷川薫 議員

日本共産党前橋市議団だより

2024年9月3日 NO. 347【発行】日本共産党前橋市議会議員団

前橋市大手町2-11-1 前橋市議会・日本共産党議員控室 電話 224-1111

「市議団だより」の製作・折込には、政務活動費が充てられています。

共産党市議団は「新型コロナウイルス感染症流行に対する国の緊急支援策を求める意見書(案)」など3本の意見書を提出

国への意見書の採択をめざしてがんばります。

全国の定点医療機関から報告された新型コロナウイルスの新規感染者数は、5月上旬から連続して増加しており、第11波の感染拡大が続いている。

現在流行しているオミクロン株の変異株「KP.3」は、感染力が非常に強いにもかかわらず、コロナ治療への公費助成がすべて打ち切られたために、症状があっても医療費の負担を避けるために検査を受けない人や高額なコロナ治療薬の処方を受ける患者が増えている。このような全国で共通した状況が、現在の感染拡大の原因にもなっている。

また、今年の3月末で新型コロナウイルスの治療への公的支援が全廃された結果、窓口3割負担の場合、重症化リスクを軽減する治療薬「ラゲブリオ」は1回の治療で約2万6千円、軽症や中等症向けの「パキロビッド」は約2万9千円、「ゾコーバ」は約1万5千円の自己負担となっている。そのため解熱鎮痛剤だけを求める患者が増え、医者にかからず市販薬で済ます受診

控えも広がっている。

さらに、PCR検査や抗原検査も有料となり、厚労省が自治体に要請して10月から実施を予定している65歳以上の高齢者、基礎疾患のある60〜64歳を対象としたコロナワクチン接種も自治体の独自支援がなければ最大7千円の負担が発生する。(中略)左記の項目を求める。

1、高額なコロナ治療薬への公費助成を行い少なくとも5類感染症のインフルエンザの治療薬と同水準の患者負担とする。

2、高齢者や基礎疾患のある人の重要な予防手段であるコロナワクチン接種に対する自己負担の減免を拡充すること。

3、ワクチンの有効性・安全性について、新たな知見も含めて情報提供を強め、国民の疑問にこたえること。

4、ワクチンの副反応の原因究明と被害者救済に万全を期すこと。

5、コロナ感染患者の入院や治療を受け入れている医療機関への公費助成を再開する。